

“人間と性”教育研究協議会石川支部

第21回 石川セミナーのご案内

テーマ あなたらしく わたしらしく～それぞれの自立と共生をめざして～

全体会

「自分を責めないで、あいのままに生きていこう」  
～性暴力被害を考える～

【ライブ&トーク】 PANSAKU (ぱんさく)

主催 “人間と性”教育研究協議会石川支部

後援 石川県、金沢市、金沢市教育委員会、石川県産婦人科医会  
石川県保険医協会、石川県助産師会、(財)いしかわ女性基金  
(財)いしかわ子育て支援財団、石川県社会福祉協議会、石川県学童保育連絡協議会  
子ども夢フォーラム、子どものけんりCAPいしかわ、子ども劇場いしかわ  
石川県高等学校教職員組合、石川県教職員組合、石川県教職員組合金沢支部

日時 2013年5月19日(日) 10:00～15:30 (受付9:30～)

場所 石川県社会福祉会館  
金沢市本多町3丁目1番10号 Tel (076)223-9552

日程	9:30	10:00	12:00	13:00	13:30	15:30
	受付	分科会(3・4階各室)	昼食(各自)	午後受付	全体会 (4階大ホール)	

分科会	第1分科会	障害児(者)の性と生を考える
	第2分科会	わくわく思春期～子どもの学び、保護者とのつながり～
	第3分科会	若者から若者へ～医学生が取り組む性教育～

振込記入

振込取扱票

口座番号(振込先) 00700615081

金額 ¥1500

振込先 金沢小学校 TEL(076)223-0900

参加費 一般 1500円 性教協石川会員 1000円 学生など 700円

分科会 ① ② ③

〒920-0961 金沢市香林坊1-1 春山みどり

TEL 076-263-0607

振込用紙不足の時は郵便局にある用紙で上記内容記入を

参加費 一般 1,500円  
性教協石川会員 1,000円  
学生など 700円

振込受領証又はATM「ご利用明細表」  
入場券を当てます。当日必ずご持参ください。

お申し込みは出来るだけ5月9日(木)までに  
【問い合わせ先】性教協石川事務局 末友  
TEL 076-263-0607(夜間、休日、自宅)  
FAX 076-231-1619 (24時間自動)  
E-mail: masako.suetomo@ksf.biglobe.ne.jp

会場案内



※ 保育希望の方は、保育料(半日500円、1日1000円×人数分)を参加料と共に振込み、担当の内藤までご連絡ください。(入金後の返金は出来ません)  
内藤 TEL・FAX 076-244-7828  
E-mail: migikonaito@yahoo.co.jp 保育締切5月1日(水)

お車の方は、近くの有料駐車場をご利用願います。

# PANSAKU プロフィール



PANSAKUは、ギターボーカルをつとめる「ばん」とカホン&コーラスをつとめる「SAKU」の女性アコースティックデュオです。2人は、2008年4月、正式に「PANSAKU」を結成し、ファーストアルバム「風の唄」を自主制作し、発表しました。

PANSAKUの曲は、オリジナル中心で、「心」をテーマに歌っています。活動は主に愛知県が中心ですが、2010年6月に、ボーカルのばんが、自らのレイプ被害体験をもとに作った曲、「STAND」を発表し、各地の性被害者支援イベントでライブ講演をしています。

音楽を通して声に出せない被害者を励ますと同時に、性暴力・性犯罪への理解を訴えています。

ブログ: <http://ameblo.jp/sayatrain/>

## 事前学習会のお知らせ

石川県の性犯罪と支援の取り組みについて、県警の担当者(女性)の方のお話をお聞きする会を予定しています  
4月7日(日)午後です。  
詳細については、表記載の“人間と性”教育研究協議会石川支部事務局 末友までおたずねください。



# みんなが「光」になれる

## 暗闇の向こうへ

魂の殺人・性暴力

■5

「あの日ぼんやり眺めたひとつの光 暗闇を照らす光 今動けないまま震えてる涙のもとへ…」

山本恵子(33)の柔らかな歌声が会場を包む。すなわち、永吉明香(33)が続けた。

「自分を責めないで 心はあなたのもの…」

愛知県蒲郡市の女性デュオ「PANSAKU」が歌う「STAND」は、恵子が自分の被害体験を基に作った曲だ。2004年7月、恵子は見知らぬ男にレイプされた。暗い夜道に置き去

りにされ、遠くの街灯の光をぼんやりと見つめていた。

「私は汚れた」と自分を責めた。それでも、明香が「ばんちゃん(恵子の愛称)は悪くない」と言い続けてくれたことが、生き抜く力になった。今度は自分が、声を出せずに苦しむ人を励ませたら。そう思っていた2年前、メロディが浮かんだ。

事件は昨年、時効間際に容疑者不明でいったん不起訴になった。「犯人は『解放』で私は『負け』」。そう思うと涙があふれた。再び事件を調べると、男に金を奪われたのに「強姦」とされ「強盗強姦」として捜査されていたことが分かった。検察審査会に不服を申し立て、時効は3年延びた。「ま

## 体験歌い「伝えたい」



女性デュオ「PANSAKU」のばん(山本恵子さん、左)と、SAKU(永吉明香さん)

な3年後に傷つくんじゃない」とも言われたが、何もせずにあきらめたく

なかった。

事件のあった夏がめぐってくるたび、犯人の香水のにおいを思い出し、今も胸が苦しい。「人間の心ってインスタント(即席)じゃないよね」。あの日のライブで、体験を話していた恵子が言葉を詰まらせると、明香が言葉を継いだ。

「もし被害に遭った人が周りにいたら、孤独にしないでほしい。肩に手を置いてあげただけでも、いいんじゃないかな」

最近被害者支援のイベントに呼ばれる機会が増えた。恵子は願いを込め、STANDを歌う。明香がそうであったように、被害者の一番そばにいる人が「あなたは悪くない」と声を掛け、暗闇を照らす光となっていきたい。「みんなにも、できることがあるよ」。一人一人にそう伝えたい。(敬称略)